
機動戦士ガンダム Z E R O

可能性の出来損ない

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

機動戦士ガンダムZERO

【Nコード】

N9644X

【作者名】

可能性の出来損ない

【あらすじ】

過去に母を失ったスウェン。自分の目的の為に政府軍に協力する。

第一話 襲撃

ギャラクシー・センチュリー1000年。地球圏に新たな組織が誕生した。新連邦政府軍、この組織の発足に伴い、MSの生産を再開。一見、平和に見えた時代は終わりを迎え再び混乱する戦争の時代が始まろうとしていた。政府軍の発足それは、反連邦主義者の心を煽り、翌年に反連邦政府軍「ユグドラシル」が結成される。MSの出現それと同時に地球に移り住み、ようやく平和を掴んだ人々は、地球追放令を受ける。その追放令の発令：それは悲しい出来事の始まりだった。宇宙に出る難民の為に政府は船を用意する。だが、その船はコロニー内に住む人々を根絶やしにする為の兵器で、その事を知らないコロニー側も船に乗る難民側も、どちらも殺された。地球と宇宙：二つの世界に生きる者は、お互いに干渉せず、生きてきた。だが：0076年、遂に政府軍は宇宙に存在する者共を駆逐する為に行動を開始する。ユグドラシルも応戦するが、向こうの最新鋭機に勝つ事は出来ず、ユグドラシルは組織としての力を失い降伏する。そしてコロニーの自治権を得た政府軍は、不必要となった人材を宇宙に送り込む計画を発令。それにより、地球で育った多くの者は事実上の地球追放令を受け、シャトルに乗り込む。だが、この時に予期せぬ者共が行動を開始しており、シャトルは宇宙に散る。唯一、生き残った少年「スウェン」は、自分を助けてくれた軍人「スイク・アレン」と共に彼の所属する戦艦に来る。それが：彼の未来を変える出来事になる事は、今の誰にも分かりはしなかった。

0086年、命を救われたスウェンは、緊急難民用コロニー「セブンス」内にいた。このコロニー内には、地球と同じく四季が存在し梅雨時には、雨が降ると言う設定があった。10年の月日が流れても、世界から戦争は無くならず、政府軍と謎の軍隊は戦い続けた。幸いなのは、中立のコロニーと言う事なので、戦争の対象外と言う事だった。この10年間、スウェンは勉学にMS工学、MS

の知識を得て、母の命を奪うきっかけを作った軍隊と戦う事を決意していた。その為に、休日は農業の手伝いと言う名目で、元軍人の老人が居る小屋に足を運んでいた。老人はMSの研究を主な仕事として、現在は暮らしている為に、過去のMSに関する情報や現在のMSの情報など、様々な情報がパソコン内には存在した。

その中に在る「ゼロ計画」何度、押しても開けず、スウェンは内容を知る事は無かったが、それでもMSに関する情報だと言う事は分かった。パソコンを閉じて、老人の居る畑に向かうが、いつもと違う気配を感じていた。そしてスウェンの直感は当たり、普通は鳴らない警報が鳴り響き、MSの侵入を知らせた。スウェンは、老人のコレクション内に置いてある「ザク」と言うMSに乗り込む。OSは最新の変更されているが、武装を持たず、装甲も過去のザクと同等かそれ以下の防御力しか無い劣化版のザク合金だった。元々、ジャンク品の為にマニピュレーターも一撃当てれば、壊れる程だったが、スウェンに迷っている時間は無く、MSでの殺戮を繰り返す正体不明機に向かう。

「どうする気じゃ、スウェン！！」

「奴を止める。命は等しいからね」

エンジンを起動させ、ザクは目標に向かう。流石に滞空時間も少なく、老人の所有する畑を飛び越えるだけで、精いっぱいだった。だが畑を飛び越えた先は、平地でMS同士の戦闘を行うには、十分すぎる広さがあった。流石に市街地での戦闘は負傷者を出しかねないので、スウェンは平地で向こうのMSを迎撃する態勢で待機する。

「あんな武器の無いMSでどうするつもりじゃ？」

ザクの整備を行っている老人は、ザクに武装が無い事は知っているし、OSがいくら最新型でも、MS事態がOSの動きに付いていない事も分かっていた。その絶望的な状況でも、スウェンは諦める事は無く、向こうのMSと対峙する。飛び道具を持つMSに対し、武器を持たない時代遅れのポンコツでは、勝ち目はまず無い。向こうのMSは威嚇程度にマシンガンを連射する。スウェンは回避をせ

ずに唯一の攻撃手段「シールド」で弾を防ぐ。避ければ、攻撃の隙は出来たが、後ろにいる老人の事を考えると、避ける事は出来なかった。シールドを失ったザクに反撃の手段は無いが、スウェンは降参する所か闘争心を燃やす。MSは背中に装備されている実体剣を抜き、こちらへ迫る。十分にザクでも避け切れる速度で回避行動をとるが、向こうの反応速度は速く確実にコクピットを潰しに来た。既に回避行動を行えないザクは、自分の腕を引き千切り、相手の実体剣に目掛けて、投げる。突如、飛んできた物体にMSは反応できず隙が生じた。スウェンは隙を逃さず、限界を超えるザクに無理をさせ最後の突撃を仕掛ける。

「この瞬間、逃すか!!」

「小僧…何だと!?!」

平地に一軒だけある家に激突させ、向こうのMSは機能を停止する。スウェンは亀裂の入ったコクピットを蹴り上げ、脱出する。向こうのパイロットはこちらのザクの突撃を受け宙に浮いた剣により絶命していた。スウェンは脱出したザクより飛び降り、敵MSのコクピットに侵入する。幸い、欲しい情報のあるデータは壊れておらず、データを入手後、コクピットを降りる。だが敵MSを倒す為には適切な代償を払ったのも、また事実だった。

「はあ…俺の家…MS迎撃の為とは言え秘蔵のプラモも共に消えた…」

いくら勝つ為だから10万以上のガンプラを捨てるのは、ガンプラ魂を消したも同然の事だった。一応、このコロニーの政府がうるさい為に現場はそのままスウェンは老人の居る小屋へと戻った。

第一話 襲撃（後書き）

何とかMSの迎撃に成功したスウェン。だが次なる脅威は目の前に…
次回 ZERO計画
遂にZEROが戦場に現れる。

スウェン・レイク17歳

7歳の頃に、セブンスに来た。趣味はガンプラ制作&鑑賞。MSの
操縦も並に強く、状況分析能力も高い。お気に入りのMSはクロス
ボーン・ガンダム系。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9644x/>

機動戦士ガンダムZERO

2011年10月27日05時35分発行